

A-Vモニター

(補助バッテリー用 デジタル電流/電圧計)

-120B -200B

型式：AM-120K-120B (最大許容電流120A)

型式：AM-120K-200B (最大許容電流200A)



上の写真はAM-120K-120Bタイプ

- ・ 分流器(電流センサ)は工業用(CLASS 1.0)を採用。高確度な電流測定ができます。
- ・ バッテリーの電圧、充電電流、放電電流を正確に表示します。
- ・ 充電電流はプラス、放電電流(消費電流)はマイナスで表示されます。
(充電しながら消費した場合には、その差が表示されます)
- ・ 最小電流 0.1A から計測されるので、少量器具のスイッチ切り忘れの確認にも役立ちます。
- ・ 11.3V と 10.8V の2段階の残量警報ブザーはバッテリーあがり防止に役立ちます。
(11.3Vは予告として使用すると便利です)
- ・ 夜間でも見やすいバックライト付です。
- ・ [A-V モニター]の電源はバッテリーから供給されますので、内蔵電池は不要です。
消費電流は 0.007A 以下と微少ですから、バッテリーの負担は極めて僅かです。
(通常は A-V モニターの電源はONのままで差し支えありません)
- ・ 本体と分流器の間は、付属のモジュラーコードで簡単スマートに接続できます。

サンフジ電子

〒388-8011 長野市篠ノ井布施五明 1-30

TEL 026-292-8290

FAX 026-292-6467

E-Mail sunfuj2@janis.or.jp

<http://www.janis.or.jp/users/fuji2/>

A-V モニター

-120B -200B

(補助バッテリー用 デジタル電流/電圧計)

[A-Vモニター]はバッテリーの充電電流、消費電流や電圧を表示します。

電気は目に見えないものですが、これをA-Vモニターで目に見えるようにすることによって、バッテリーの状況が把握でき、適切なバッテリー管理を行うことに役立ちます。

[A-V モニター]でバッテリーの充電電流や放電電流、電圧を把握して、バッテリーの有効利用、トラブル防止にお役立てください。

仕 様

型 式	AM-120K-120B	AM-120K-200B
適用バッテリー	12Vバッテリー用	
測定方式	電流/電圧 切替方式	
A/D変換方式	二重積分方式	
電流測定 (A)	DC ±0.0~120.0A	DC ±0.0~199.9A
	確度±2%rdg±0.1A (rdg : 読み値) 充電電流は(+)無表示、放電電流は(-)表示します	
電圧測定 (V)	DC 約7~19.99V 確度±0.3%rdg±0.01V	
測定値表示部	3.5桁液晶表示器 (LCD) 文字高 12.8mm	
バックライト	表示部のバックライト 緑色LED	
バッテリー 残量警報ブザー	HIは約11.3V LOは約10.8V以下になるとブザーが間欠的に鳴り始めます。	
本体外形寸法	135W×85H×40D mm 突起物含まず	
分流器 (電流センサ)	最大定格電流 120A (CLASS 1.0)	最大定格電流 200A (CLASS 1.0)
	外形寸法 26W×40H×140L mm	外形寸法 30W×40H×180L mm
モジュラーコード	本体と中継コネクタとの接続用です。 標準長5m(付属品)	
消費電流	7mA (0.007A)以下、アラームブザー時 約13mA	
重 量	本体 約240g 分流器 約230g	本体 約240g 分流器 約280g
温湿度範囲	確度保証5~35℃ 使用温度 -5~50℃ 80%RH以下(結露なきこと)	

①A-V MONITOR 本体

付属の木ネジで、見やすい場所に取り付けます。
取付場所は、出入り口付近の見やすい場所が便利です。
直射日光が長時間当たる場所や高温の場所は避けてください。

②測定値表示部

電流(A)又は電圧(V)の測定値が表示されます。
バッテリーに充電される電流はプラスで表示されます。(＋記号は省略)
バッテリーからの放電電流(消費電流)はマイナス(－)で表示されます。
充電しながら電気を使った場合は、その差が表示されます。
夜間でも見やすいバックライト付きです。
1999を越えると 1xxx 又は -1xxx と表示されます。(xは表示が消える)

③電流／電圧表示切替スイッチ

電流(A)、電圧(V)の測定表示の切替スイッチです。

④電源スイッチ

本体の電源スイッチです。
A-V モニターの消費電流は 約0.007Aと微少ですから、通常はONのまま差し支えありません。
長期間使わない場合には微少電流といえども無駄ですのでOFFにしてください。

⑤バッテリー残量警報

2段階の電圧低下アラームの切替スイッチです。
HIは約11.3V L0は約10.8V以下になると、ブザーが間欠的に鳴り始めます。
バッテリーが充分にあるときは、HI(11.3V) にしておきます。
ブザーが鳴ったら、L0(10.8V)に切り替えて、出来るだけ電気を節約して使います。
L0(10.8V)でブザーが鳴ったら、電気の使用は極力止めて、早いうちに充電して下さい。

⑥バッテリー残量警報ブザー

ブザーは間欠的に鳴ります。
電圧低下に応じて鳴る時間が長くなります

⑦モジュラーコード差込口

付属のモジュラーコードで本体と中継コネクターを接続します。

注意 上記以外の接続はしないで下さい。
電話機や電話回線などに接続すると故障します。

⑧モジュラーコード

5mのモジュラーコードを付属しております。

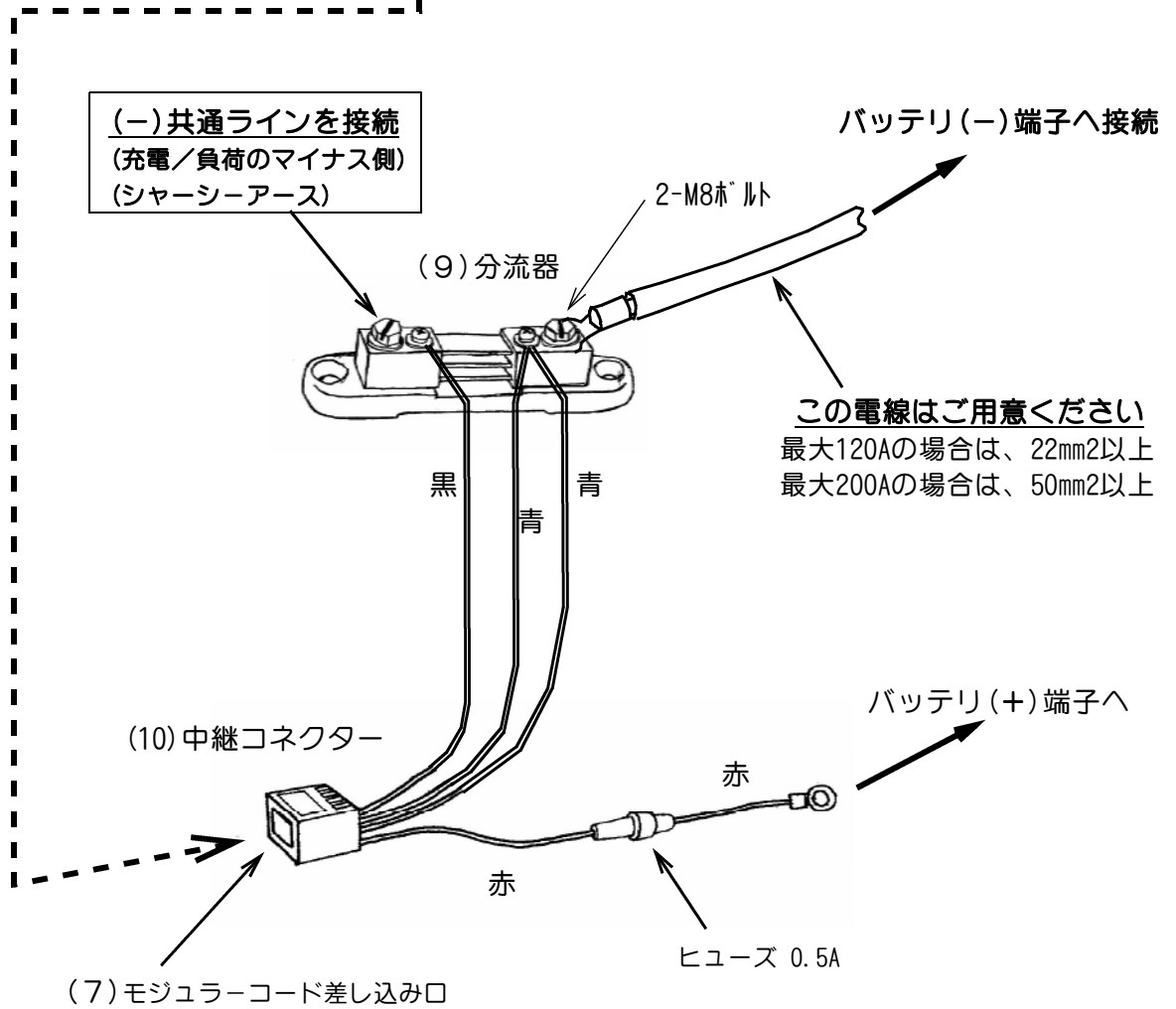
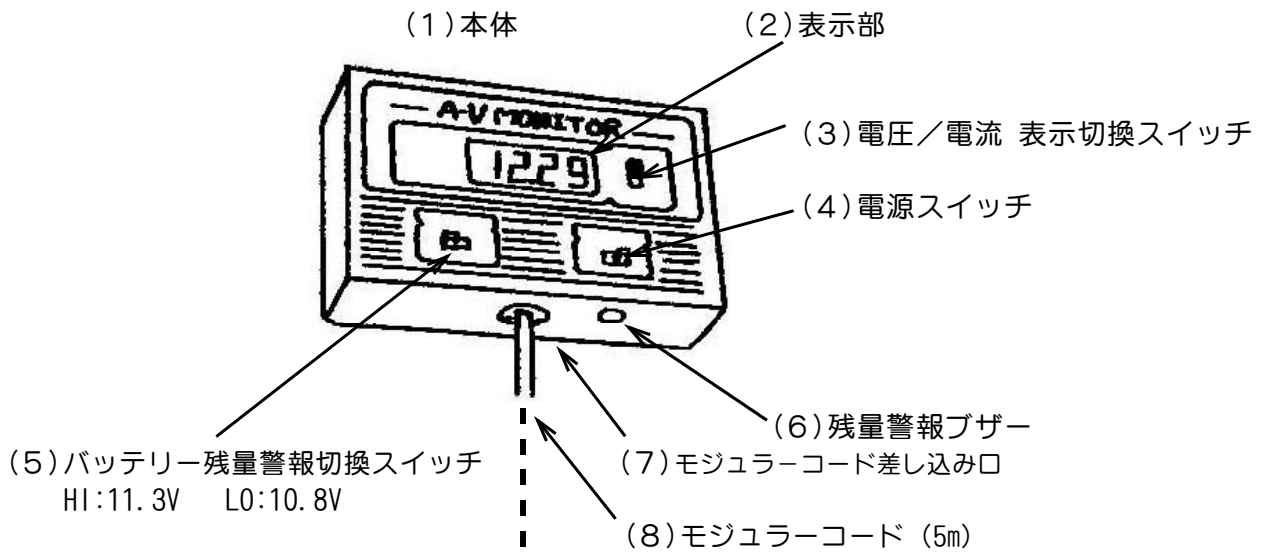
⑨分流器

補助バッテリーの近くに取り付けて配線します。
・高温の場所、ホコリの溜まりやすい場所は避けてください。
・周囲は5センチ以上あけて下さい。
・分流器は最大定格電流以下でご使用ください。
・バッテリー(－)端子から分流器の配線は十分に太い電線で接続してください。(4P参照)

警告 最大定格電流を越えたり、細い電線で接続すると、過熱、火災、の恐れがあります。

⑩中継コネクター

分流器からの信号と電源をモジュラーコードに中継します。



配線についてのご注意

1、バッテリー(-)から分流器に接続する電線は、使用電流に十分に耐える太い電線で接続して下さい。
最大120Aでは 22mm² 以上、最大200Aでは 50mm² 以上の電線で接続してください。

2、バッテリー(+)側には、最大電流以下のヒューズを必ず入れてください。

3、DC-ACインバーターの接続について

DC-ACインバーターの入力電流は12Vの場合、100Wあたりおよそ10Aです。

従って、インバーターのみを接続した場合は下記のようにになりますが、他で使用する12V機器の消費電流を考慮して、もっと小容量のインバーターにするか又はフルパワーでの使用を避けるようにして下さい。

いずれにしても、分流器の許容電流を越えないようにご注意ください。

A-Vモニターの型式	許容電流	接続可能なインバーター容量
AM-120K-120B	120A	1200W 以下
AM-120K-200B	200A	2000W 以下

更に大容量のDC-ACインバーターを使用する場合は、分流器を通さないで、バッテリーに直接接続して下さい。この場合はインバーターの電流は分流器を通らないので、インバーターの消費電流は測定できません。

警告 最大定格電流を越えたり、細い電線で接続すると、過熱、火災、の恐れがあります。

